baby lock

チェーン／カバー／トリプルカバー専用ミシン

ふらっとろっく

ご使用のてびき

Instruction Manual

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

●ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

●保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。　　FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警 告 ➡ 感電、火災の恐れがあります。

◇一般家庭用の１００Ｖ電源をご使用ください。
◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。

⚠ 注 意 ➡ 感電、火災、ケガの原因となります。

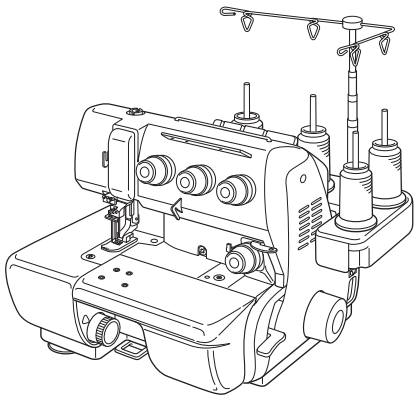
◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。
◆お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し十分に注意を払ってください。
◆以下の場所でのご使用および保管はなさらないでください。
・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所　・お子様の手の届く場所
・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所　・湿気の多い場所　・高い場所
※ミシンの使用温度は０℃～４０℃です。
◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。
◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
・針糸やルーパー糸をセットするとき　・針を交換するとき　・押え金を交換するとき
・ランプの交換をするとき　※ランプの交換は、熱が冷めてから行ってください。
◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。
・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき　・落下などにより破損したとき
・ミシンが濡れたとき　・異常な臭いや音がするとき　・正常に作動しないとき
◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押したりしないでください。
◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
◆操作時は、ミシン本体のカバー類（テーブルカバー等）はすべて閉じてください。

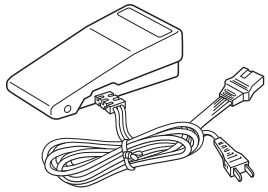
目　次

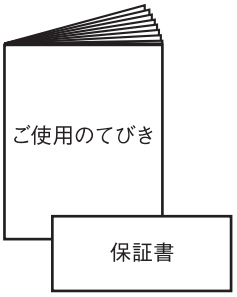
安全にご使用いただくために ---------- 1
目　次 ---------- 2
1. ご使用になる前に ---------- 3
2. 各部の名称 ---------- 4
3. 縫うための準備 ---------- 5
アンテナのセット、コントローラーのセット、糸のセット
4. 試し縫い ---------- 7
縫い始め～縫い終わり、途中で生地を抜く場合
5. 縫いの種類
（1）トリプルカバーステッチ ---------- 9
（2）カバーステッチ ---------- 10
（3）チェーンステッチ ---------- 11
6. 実用縫い ---------- 12
7. 送り目と押え圧力の調節 ---------- 13
送り目ダイヤル、押え圧力の調節
8. 差動送り ---------- 14
9. 糸のかけ方
糸かけ全体図 ---------- 15
（1）針　糸 ---------- 16
（2）ルーパー糸 ---------- 17
太い糸のかけ方 ---------- 19
10. メンテナンス ---------- 20
針の交換、ランプの交換、ルーパースレッダーの使い方、
修理を依頼される前に

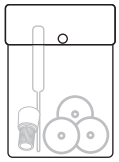
1 ご使用になる前に

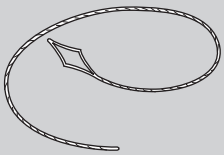
下記のものが入っていることを必ずご確認ください。

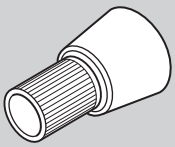

ミシン本体

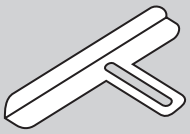

コントローラー

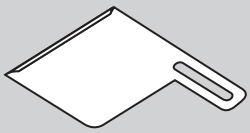



アクセサリーケース

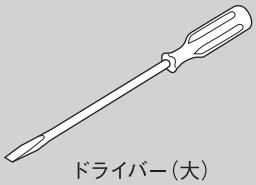

ルーパースレッダー
【P21参照】

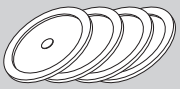

照明ライト交換具
【P21参照】

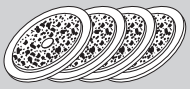

生地ガイド
【P12参照】

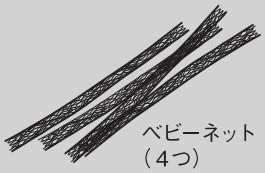

裾引きガイド
【P12参照】

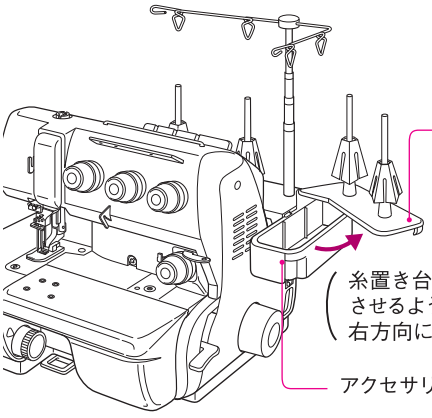
ミシンカバー

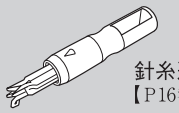

ドライバー（大）


駒受け（４個）
【P６参照】

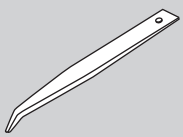

スポンジ付駒受け（４個）
【P６参照】

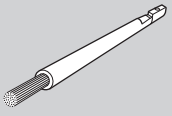

ベビーネット
（４つ）
【P６参照】

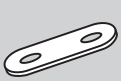


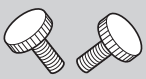

針糸通し具
【P16参照】

針止めネジ２個

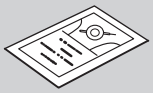

ピンセット


掃除用ブラシ

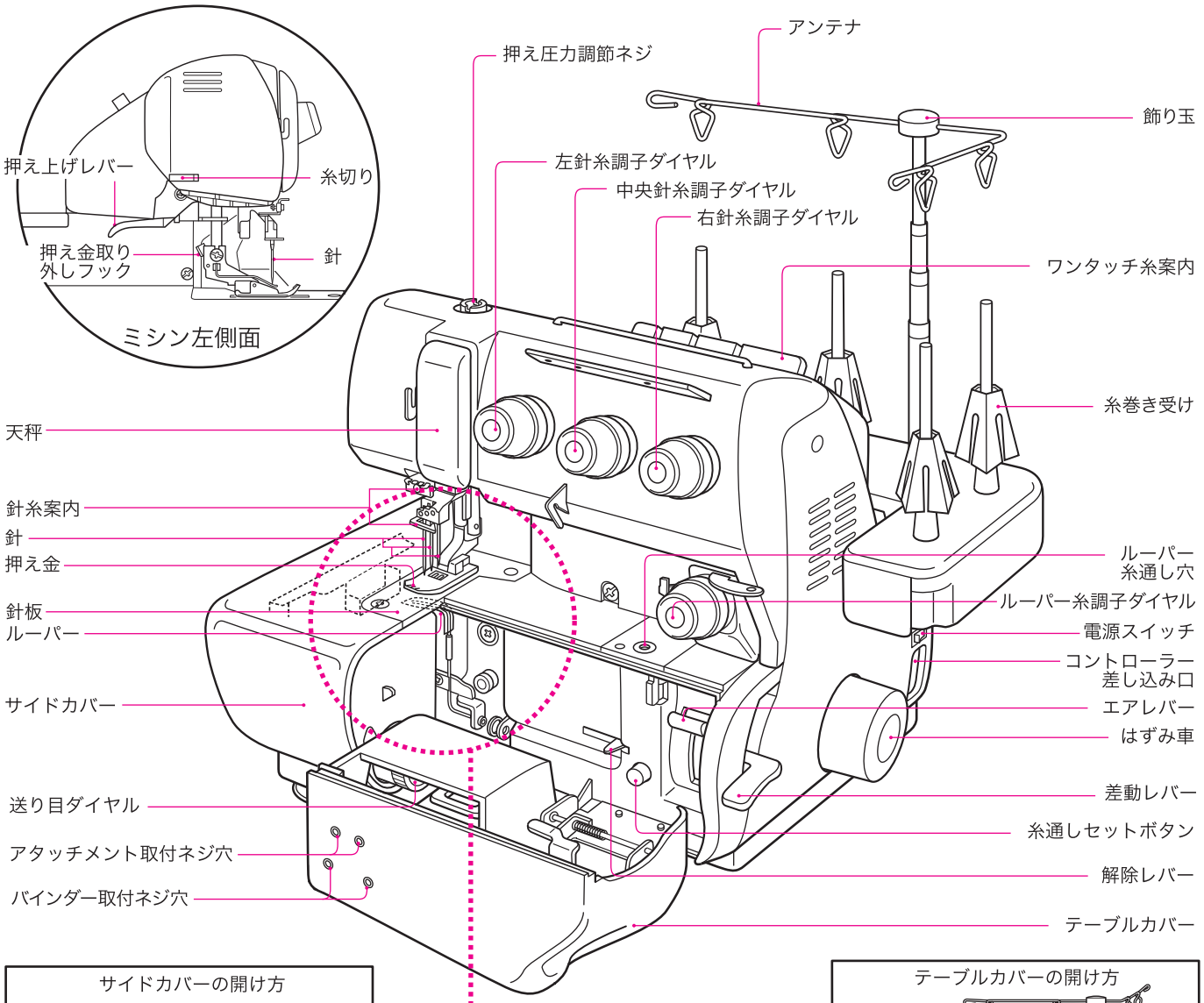

ガイドアダプター

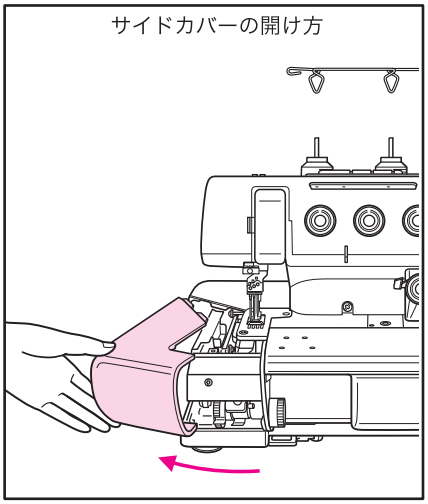

アタッチメント固定ネジ
（２個）

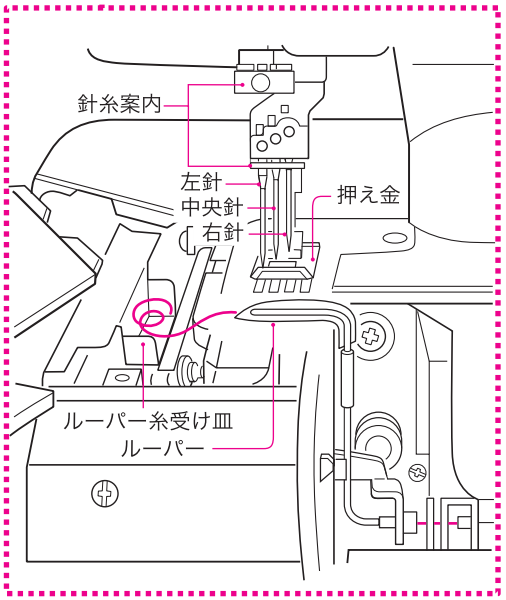
六角レンチ
・ドライバー

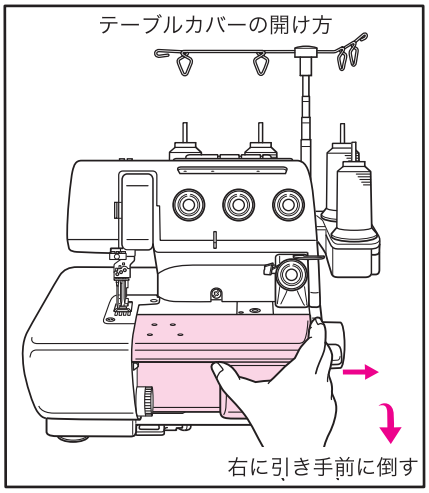

針（ＥＬ×７０５ ＃12）
【P20参照】

2 各部の名称


押え上げレバー
糸切り
押え金取り
外しフック
針
ミシン左側面
アンテナ
押え圧力調節ネジ
飾り玉
左針糸調子ダイヤル
中央針糸調子ダイヤル
右針糸調子ダイヤル
ワンタッチ糸案内
糸巻き受け
天秤
針糸案内
針
押え金
針板
ルーパー
サイドカバー
送り目ダイヤル
アタッチメント取付ネジ穴
バインダー取付ネジ穴
ルーパー
糸通し穴
ルーパー糸調子ダイヤル
電源スイッチ
コントローラー
差し込み口
エアレバー
はずみ車
差動レバー
糸通しセットボタン
解除レバー
テーブルカバー


サイドカバーの開け方


針糸案内
左針
中央針
右針
押え金
ルーパー糸受け皿
ルーパー


テーブルカバーの開け方
右に引き手前に倒す

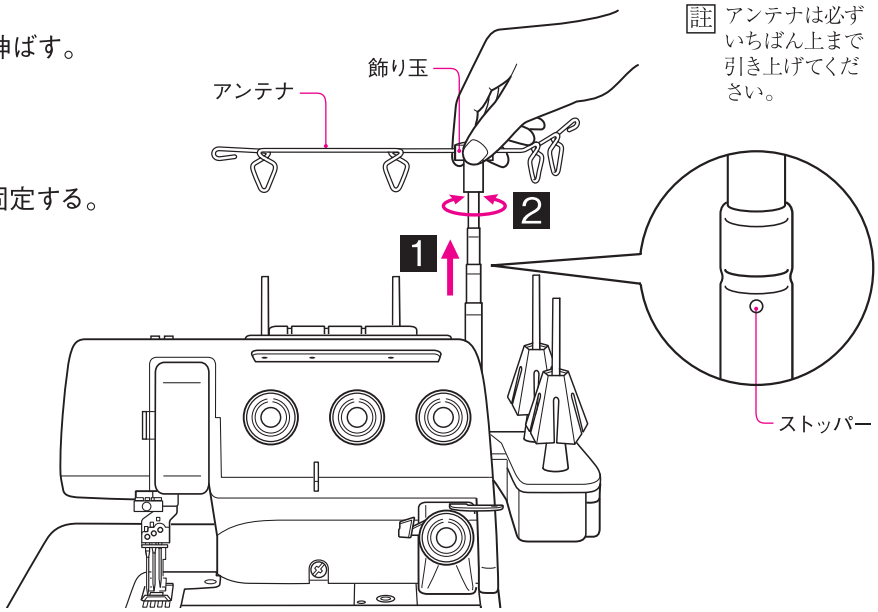
3 縫うための準備

アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上へいっぱいに引き伸ばす。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。

2 アンテナを左右に振ってストッパーを固定する。



註 アンテナは必ずいちばん上まで引き上げてください。

コントローラーのセット

⚠ 注 意

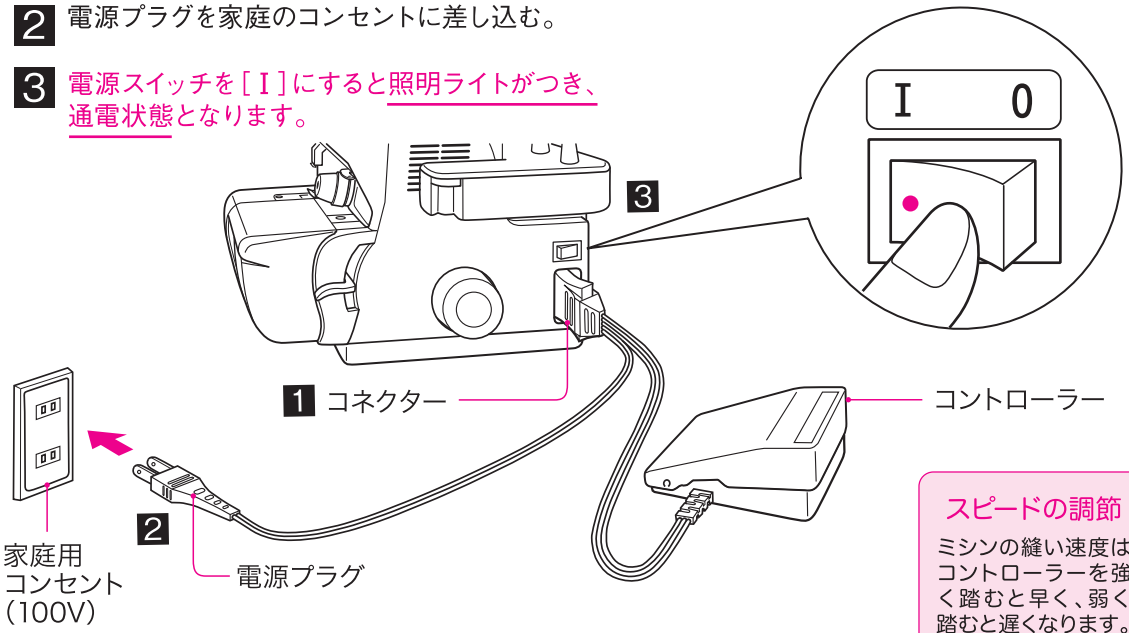
火事の原因になります。

◆プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
◆コントローラーの上に物を乗せない。
◆電源コードを抜くときは電源スイッチを切ってからプラグを持って抜く。コードを引っ張らない。

1 コントローラーのプラグをミシン本体と家庭のコンセントに差し込む。

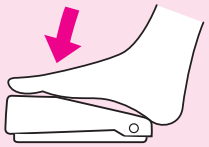
2 電源プラグを家庭のコンセントに差し込む。

3 電源スイッチを［I］にすると照明ライトがつき、通電状態となります。



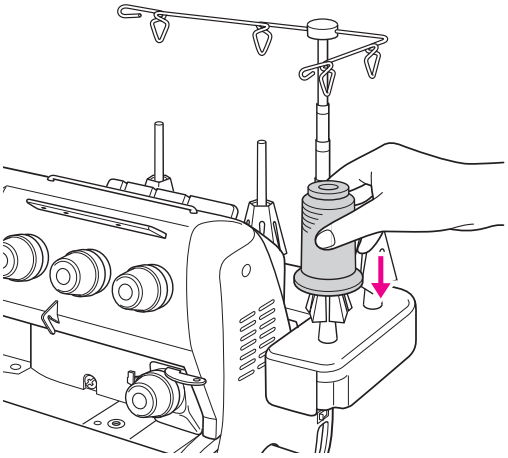
スピードの調節

ミシンの縫い速度はコントローラーを強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。



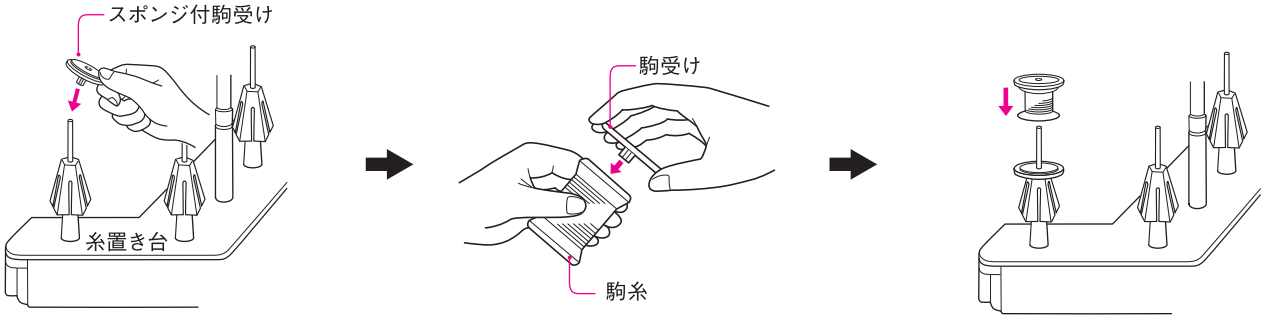
糸のセット

・針糸は、スパン糸をご使用ください。
・ルーパー糸は、スパン糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。



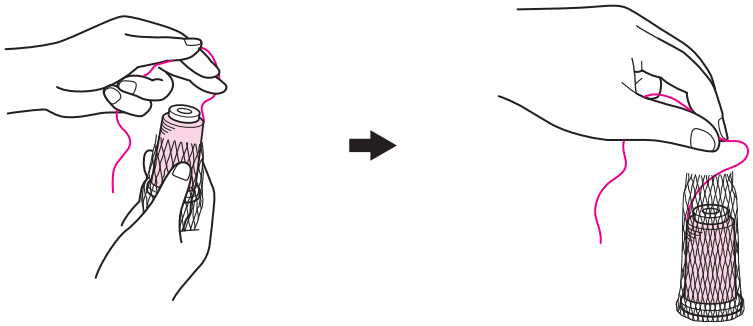
■駒受けの使い方

駒糸使用の場合は付属の「スポンジ付駒受け」と「駒受け」をご使用ください。



■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸を使用するときは、
付属の「ベビーネット」をご使用ください。



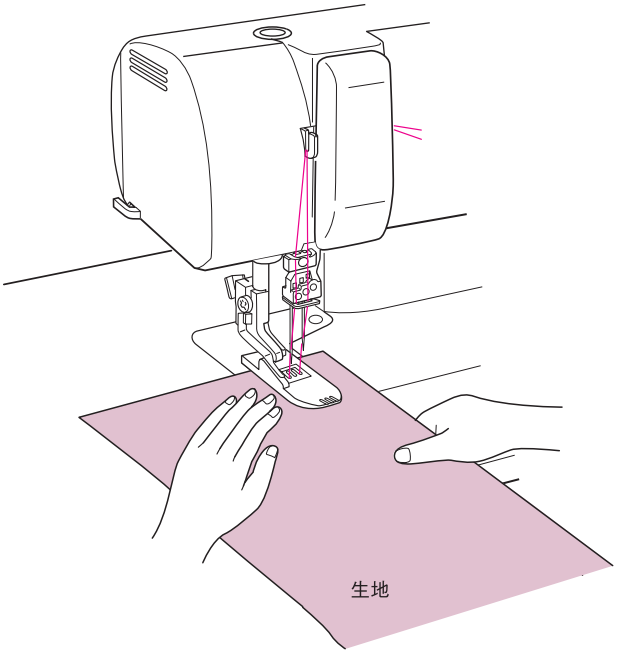
4 試し縫い

縫い始め

1 送り目を“3以上”にする。(P13参照)
註:空環は送り目が“3”未満は出ません。

2 押え金を下げる。「はずみ車」を手前方向に手で数回まわしてからコントローラーを軽く踏み、続いて生地を入れる。
送り目を好みの数字(4～3)にして縫い始める。

最初は送り目“4”から縫い始めます。縫い始めれば、好みによって送り目を“3”以下にすることもできますが、使用する生地や糸の種類、糸調子の取り方によっては、送り目が小さければ小さいほど、目飛びや糸切れする場合があります。
目飛びや糸切れがしたら、送り目を“4”に戻してみましょう。

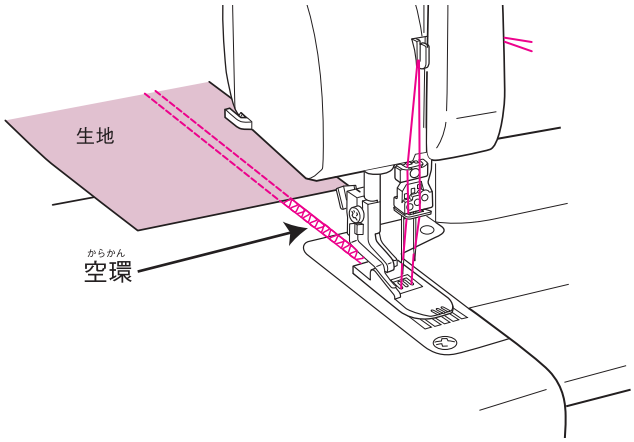


注意 ケガをする恐れがあります。 針・ルーパーの動く範囲に指や手を持っていかないでください。

縫い終わり

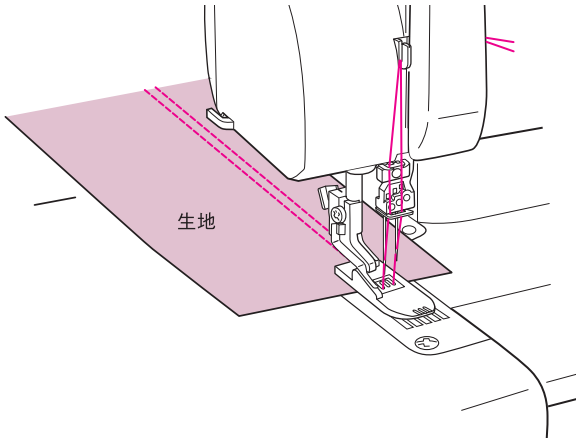
1 生地の端まで縫い終わったら、再び送り目を“4”にする。

2 「空環※」を数cm出してから切る。

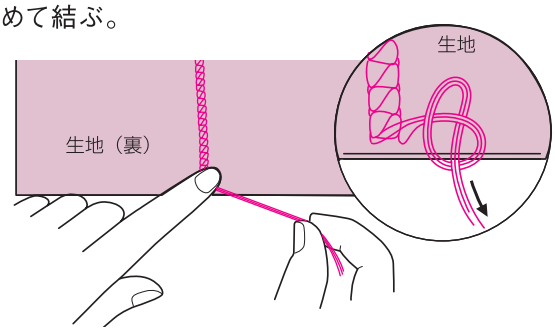


※
空環は、布地や糸の種類、糸調子の取り方によって出にくい場合もあります。その場合は下記のようにします。

❶生地の端まで縫い終わったら、押え金を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。



❷表に出ている糸を抜き、裏側ですべての糸をまとめて結ぶ。



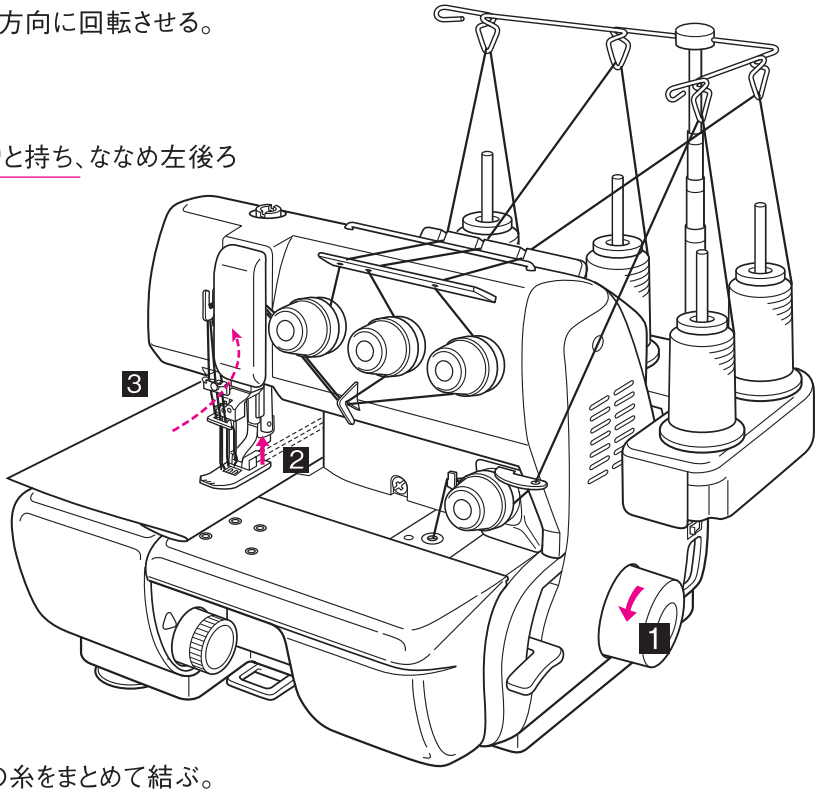
◆ 途中で生地を抜く場合

縫っている途中で生地をはずしたい場合は以下のようにします。

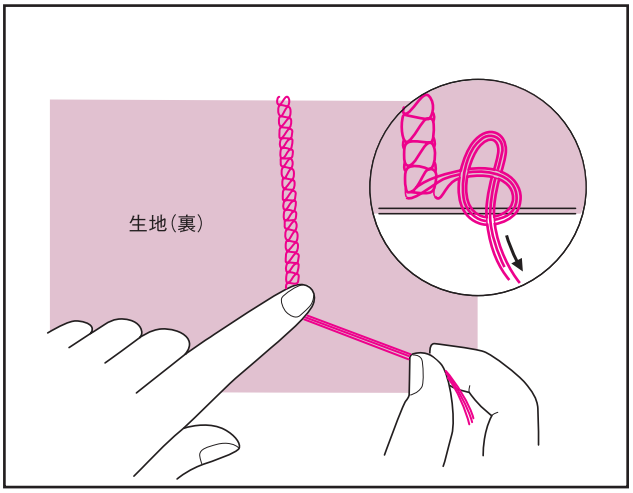
1 針が1番上になるまで、はずみ車を手前方向に回転させる。

2 押え金を上げる。

3 布と縫い目の縫い終わり部分をしっかりと持ち、ななめ左後ろに一気に引っ張る。



4 表に出ている糸を抜き、裏側ですべての糸をまとめて結ぶ。



筒縫いの場合は縫い初めと縫い終わりを3cmほど重ね縫いするとほどけてきません。

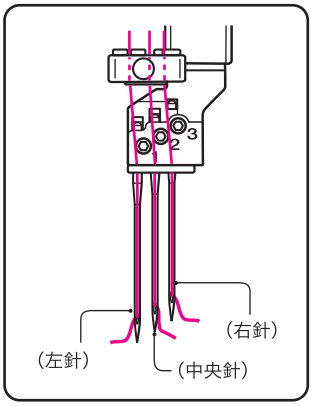
5 縫いの種類

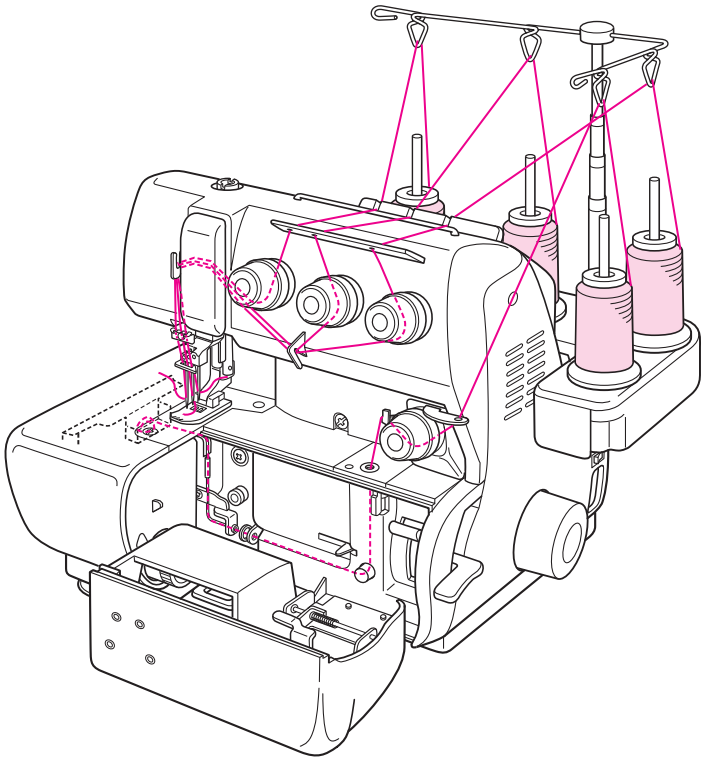
（1）トリプルカバーステッチ

トリプル
カバーステッチ

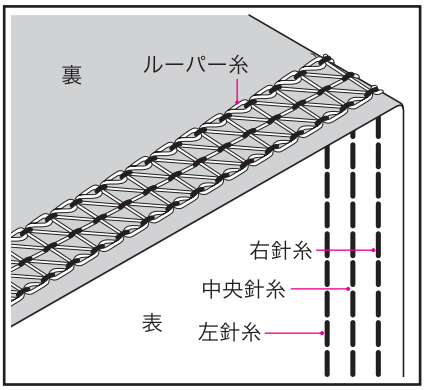
トリプルカバーステッチは表が３本の直線縫いになり、飾り縫い、裾始末、ゴム付け等に適しています。

ルーパー糸と針糸３本の合計４本の糸を使って縫います。
（P13・19参照）



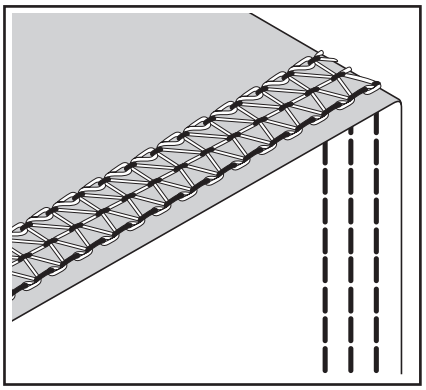


糸調子の合わせ方



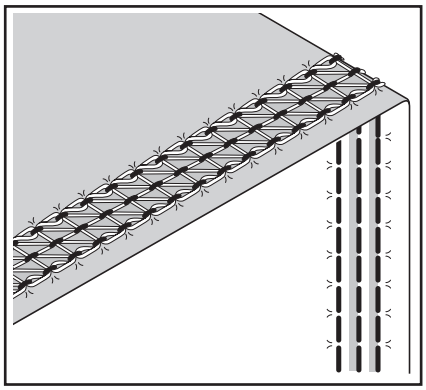
きれいな縫い目

表の縫い目が３本の直線で、裏の縫い目は鎖状（ループ）がジグザグ状になっている。



針糸がゆるい

針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはルーパー糸調子ダイヤルを回し、より小さいで数字にする。



針糸がきつい

針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはルーパー糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。

（2）カバーステッチ

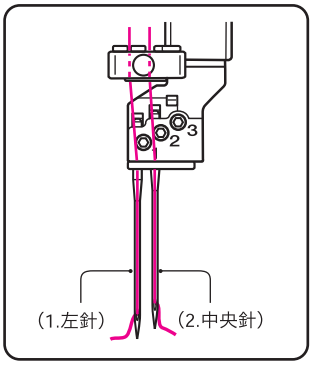
カバーステッチ

カバーステッチはステッチ２本で構成され、表は２本の直線、裏は２つのループが絡んだ縫い目になります。既製品のＴシャツなどの袖口や裾にこの縫い目がよく使われています。カバーステッチは２本の針を使用しますが、使う針の組み合わせにより、右側3mm幅と左側3mm幅、広幅6mmの３種類の縫い方ができます。

ルーパー糸と針糸２本の合計３本の糸を使って縫います。針糸は下記のいずれかで組み合わせます。

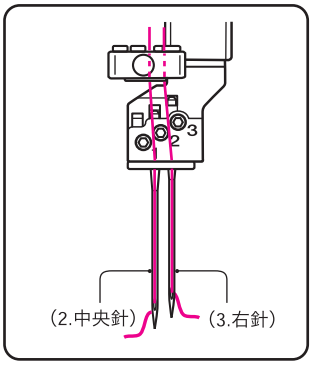
※針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。
　また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

左側３mm幅

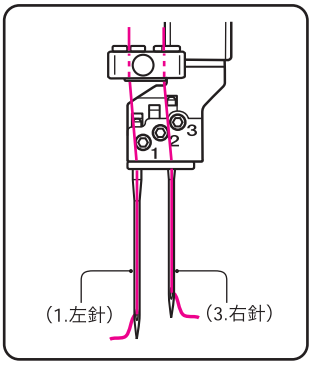


［ ３mm幅は薄手のジャージ等に特に適していますが普通地の飾り縫いとしても応用できます。 ］

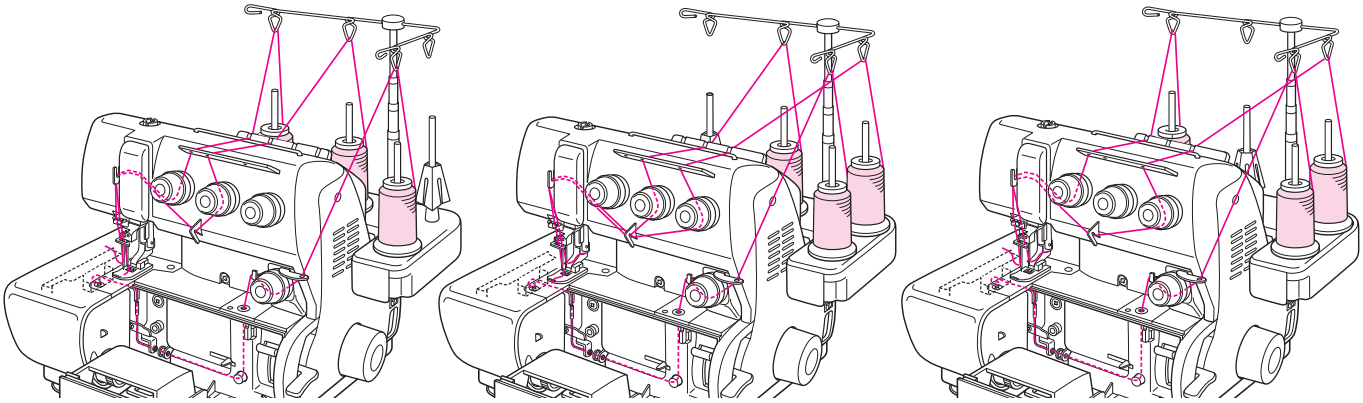
右側３mm幅



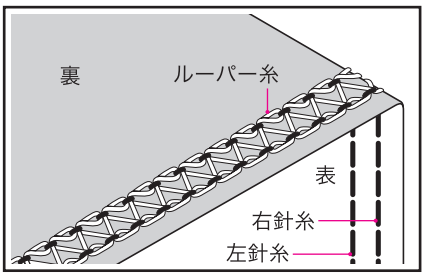
広幅６mm



［ ６mm幅は厚手のジャージ等に特に適していますが薄手のジャージや普通地の飾り縫いとしても応用できます。 ］

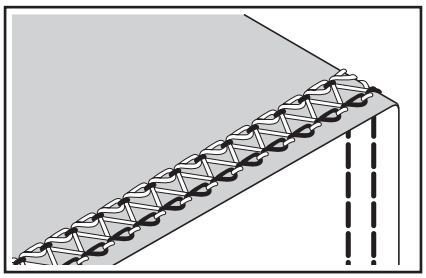


糸調子の合わせ方



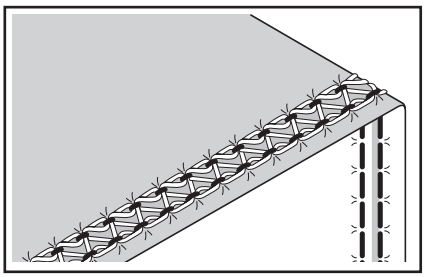
きれいな縫い目

表の縫い目が２本の直線で、裏の縫い目は鎖状（ループ）がジグザグ状になっている。



針糸がゆるい

針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはルーパー糸調子ダイヤルを回し、より小さいで数字にする。



針糸がきつい

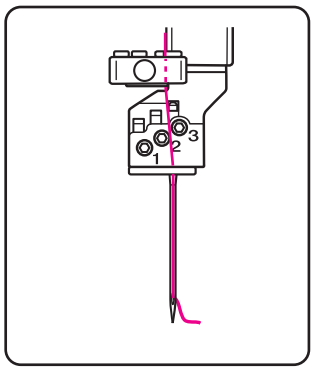
針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはルーパー糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。

（3）チェーンステッチ

チェーンステッチ

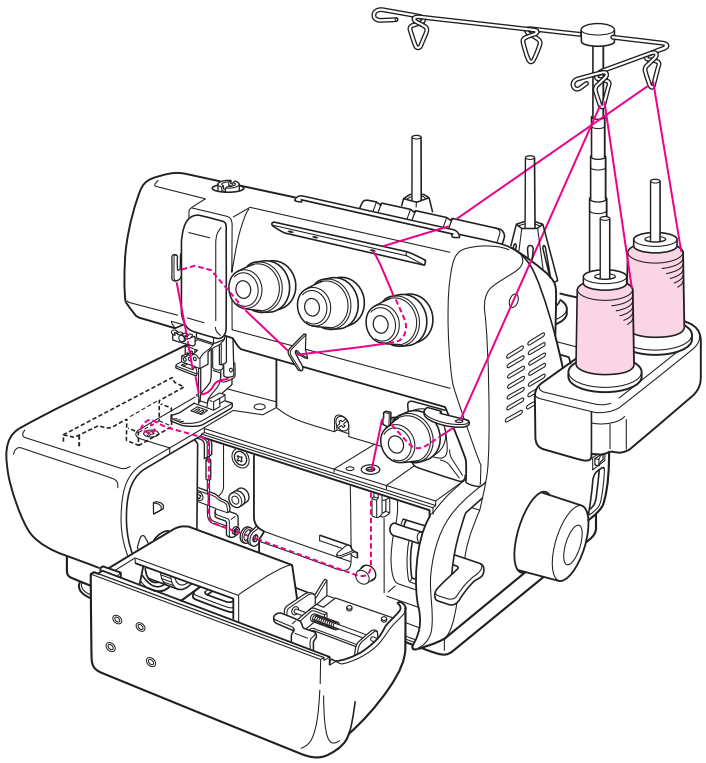
チェーンステッチは二重環縫いとも言われている縫い方で、表が直線縫いになり、裏が鎖状になっています。そのため普通ミシンの直線縫いとは異なり、丈夫なうえに伸縮性もあります。ニット地などの縫い合わせ、ゴム付け、バイアステープ作りに適した縫い目です。

針糸は１、２、３のいずれかに通します。

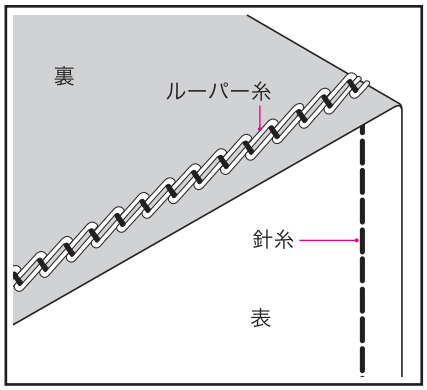


※針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。
また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

ルーパー糸と針糸の２本の糸を使って縫います。

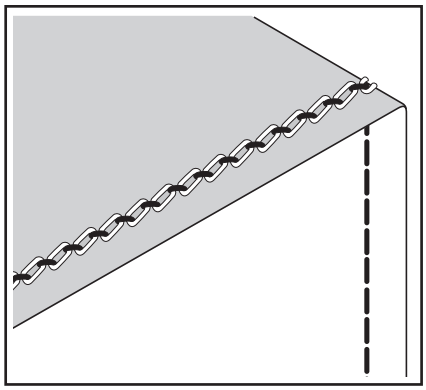


糸調子の合わせ方



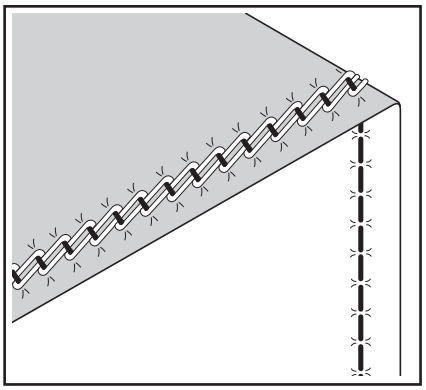
きれいな縫い目

表の縫い目が直線で、裏の縫い目は鎖状（ループ）になっている。



針糸がゆるい

針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはルーパー糸調子ダイヤルを回し、より小さいで数字にする。

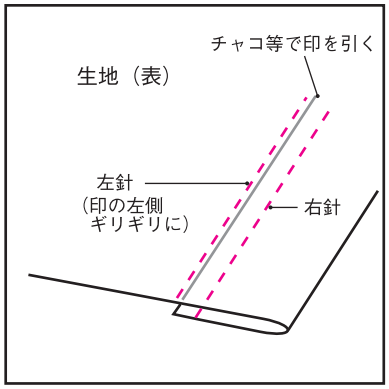


針糸がきつい

針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはルーパー糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。

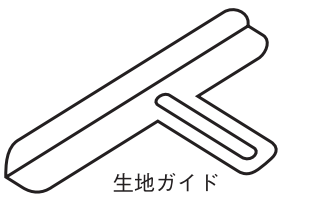
6 実用縫い

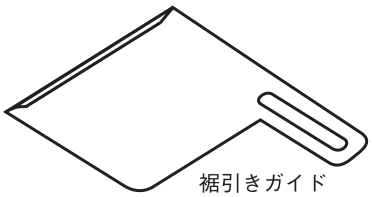
◆ カバーステッチの裾縫い

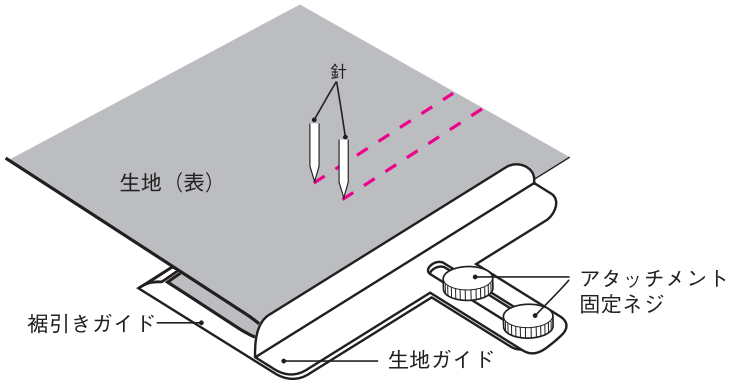


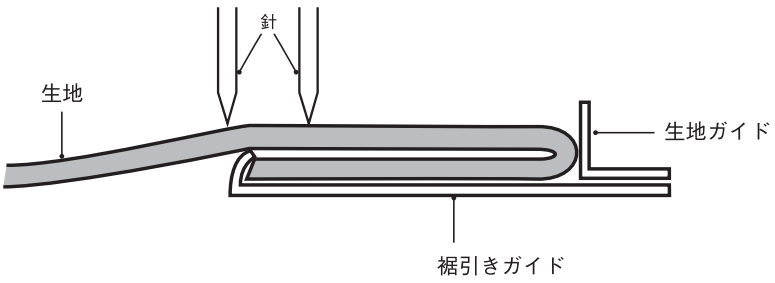
1. まず最初に何ｃｍ折り上げるかを決める。
2. 決めた分の布地を折り上げ、アイロンをかけておく。
3. 折り上げた布端が布の表からわかるように、定規で測って布の表にチャコ等で印を引いておく。
4. 布の表を上にして押え金の下に置き、左針の右側ギリギリに、引いた印が来るようにする。
5. 印からはずれないように縫っていく。
6. 布の端まで縫い終わったら、押え金と針を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。
7. 表に出ている糸を軽く引いて抜く。裏に出ている糸は裏側に引っ張り出し、すべての糸をまとめて結ぶ。

■付属の生地ガイドと裾引きガイドを下記のようにして使うとより簡単に裾縫いができます。
※但し、カーブを縫うときなどは裾引きガイドを使用せず、生地ガイドのみの方が縫いやすいこともあります。

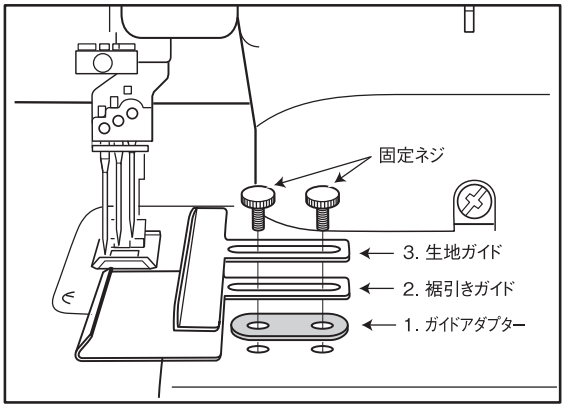




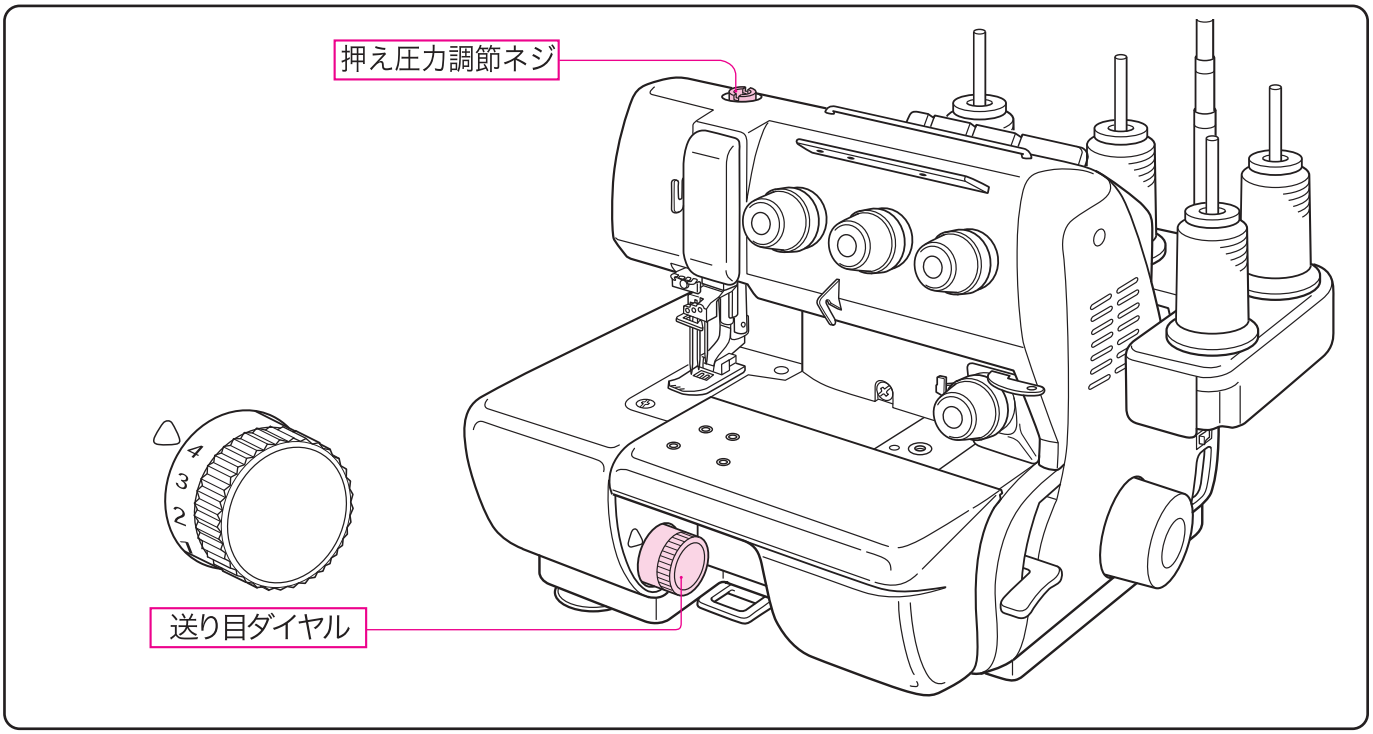




裾引きガイドと生地ガイドを使用するときは、
下記の図のようにまず
1.ガイドアダプター
2.裾引きガイド
3.生地ガイド
の順に置き、固定ネジで固定します。

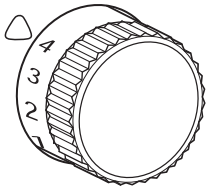


7 送り目と押え圧力の調節



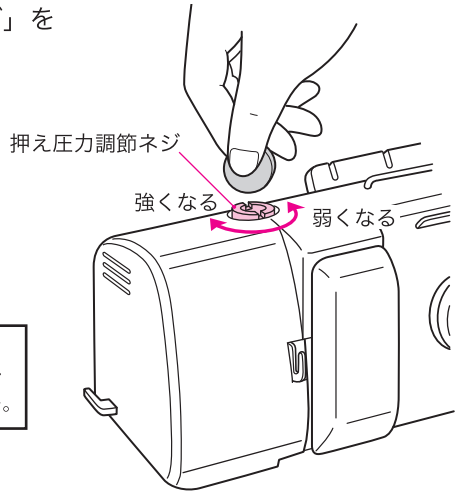
◆ 送り目ダイヤル

通常は“3”以上でご使用ください。場合によっては“3～4”の範囲で調節ください。



◆ 押え圧力の調節

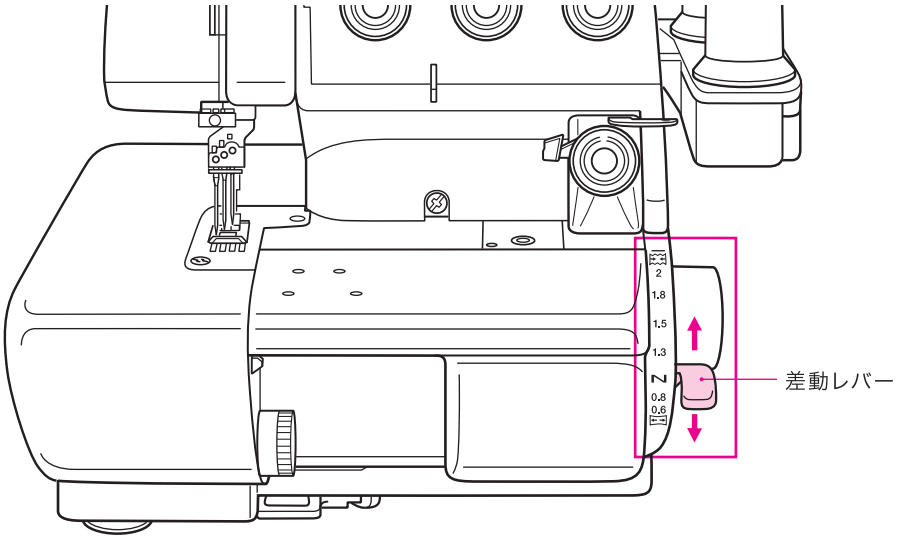
押え圧力はコインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節します。

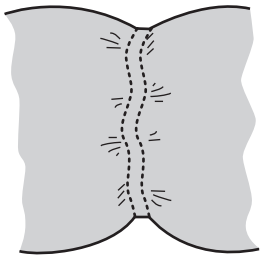
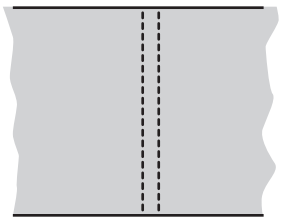
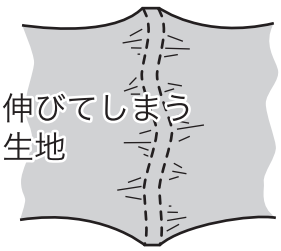
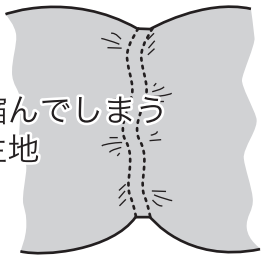
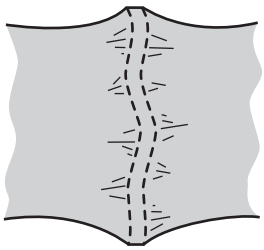
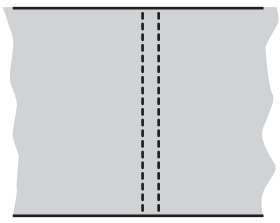


このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調節されていますので普段はあまり調節する必要はありません。

差動送り

通常はN位置でほとんどの生地を縫う事が出来ますが、伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「差動レバー」を使うと、平にきれいに仕上げる事ができます。
さらにギャザーを寄せる際などに使用すると、とても便利です。

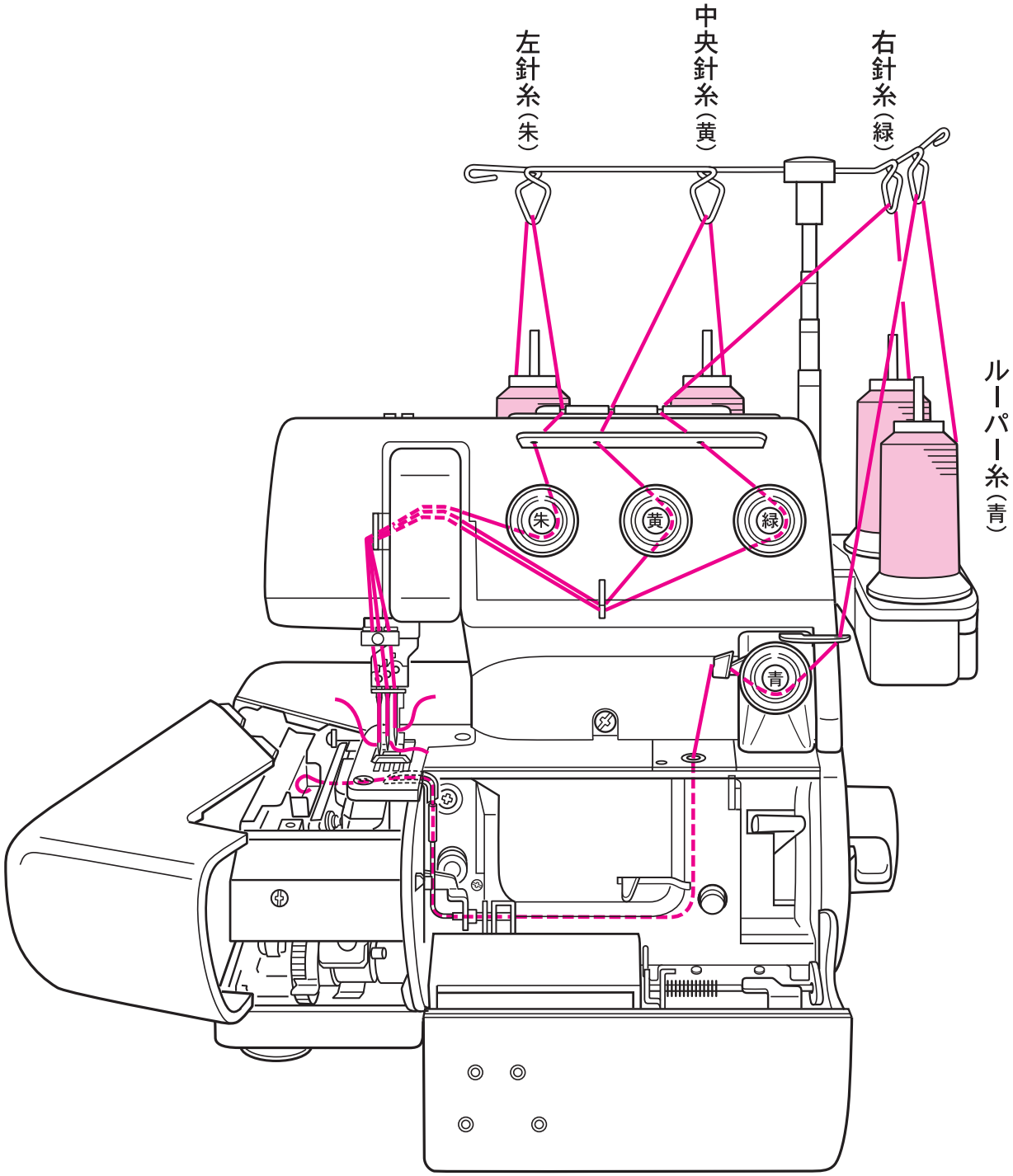


2 1.8 1.5 1.3	縮み縫い		ニット地や バイヤス部分 など 	
N	普通縫い		伸びてしまう 生地 	縮んでしまう 生地 
0.8 0.6	伸ばし縫い			 裏地など

9 糸のかけ方

糸かけ全体図

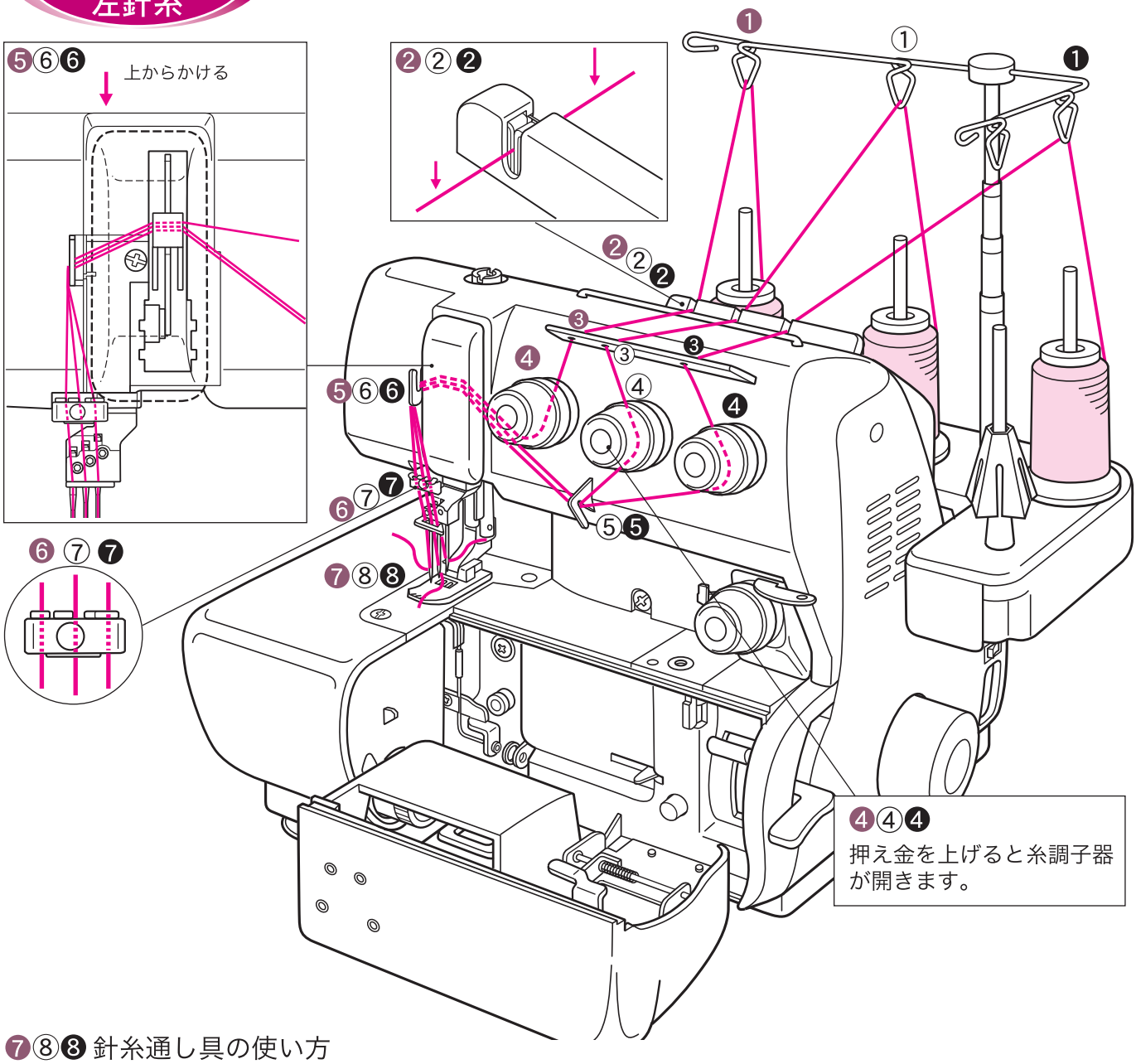
どの糸からかけてもかまいません。



（1）針糸

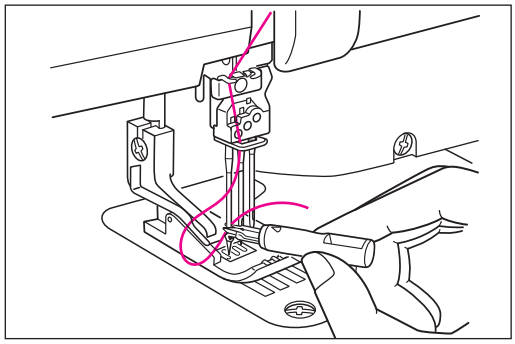
右針糸
中央針糸
左針糸

下記の番号にしたがって糸をかけていく。

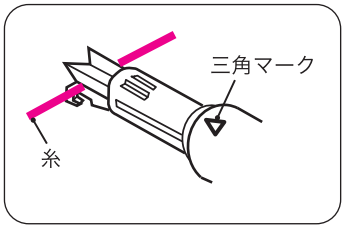


❼⑧❽ 針糸通し具の使い方

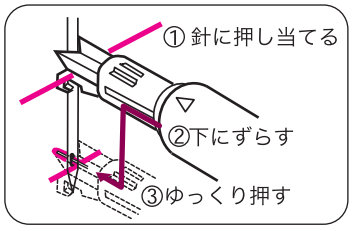
付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。



1 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



2 そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す

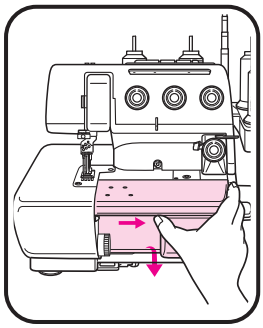


（2）ルーパー糸

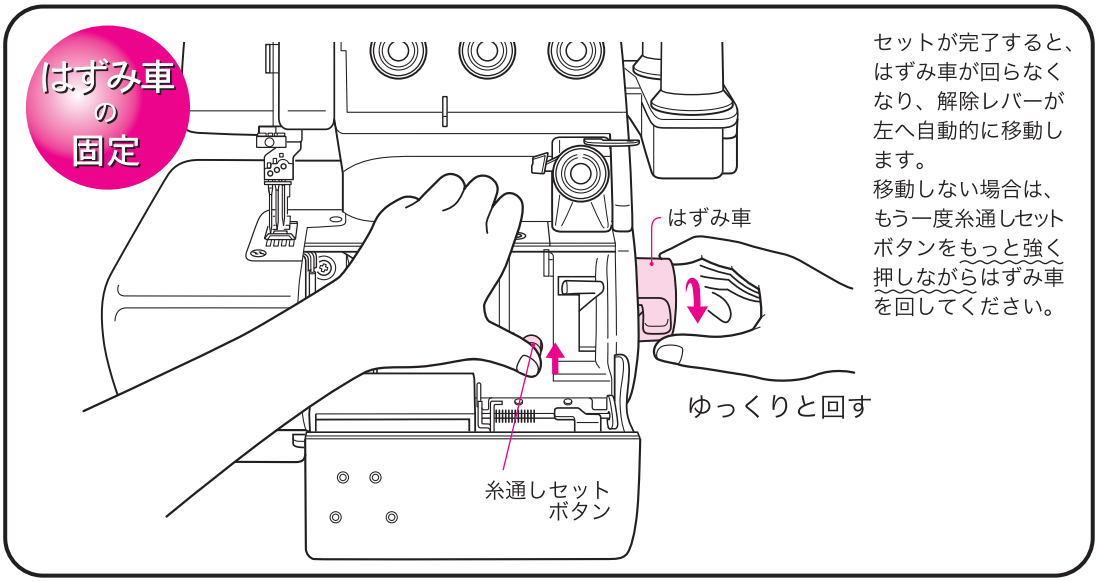
ルーパーの糸かけをするときはエアスルーシステム（自動エア糸通し）を使います。
エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。
また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

1 エアスルーシステムの準備

❶ テーブルカバーを開ける。



❷ 糸通しセットボタンを押しながら、 カチッと音がするまで、はずみ車を回す。



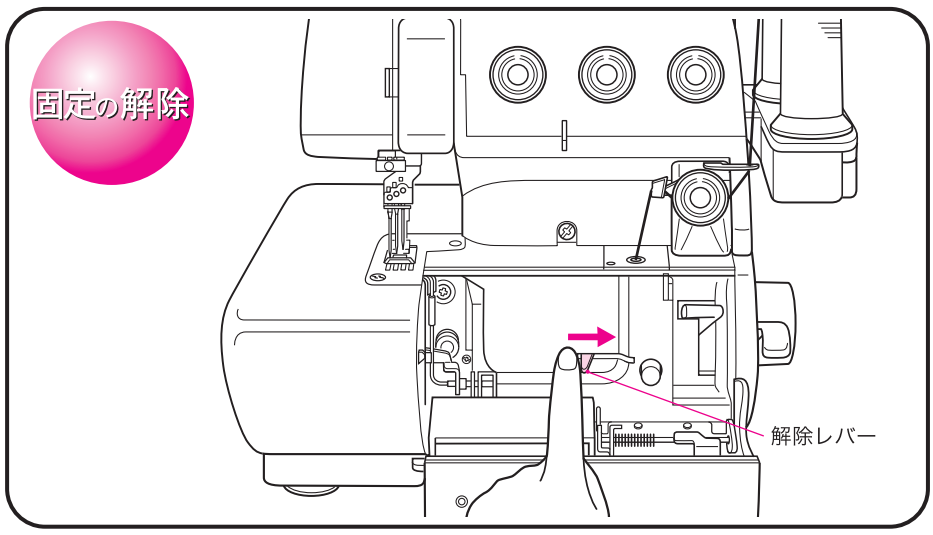
セットが完了すると、はずみ車が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。
移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらはずみ車を回してください。

2 次ページにしたがって糸をかける（P18）

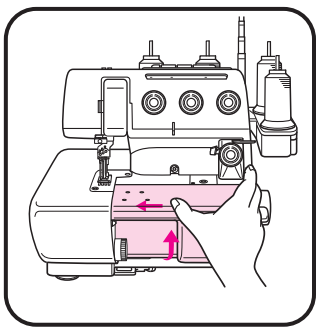
次ページにしたがって糸をかける（P18）

3 ルーパー糸をかけ終わったら

❶ 解除レバーを右にスライドさせる。

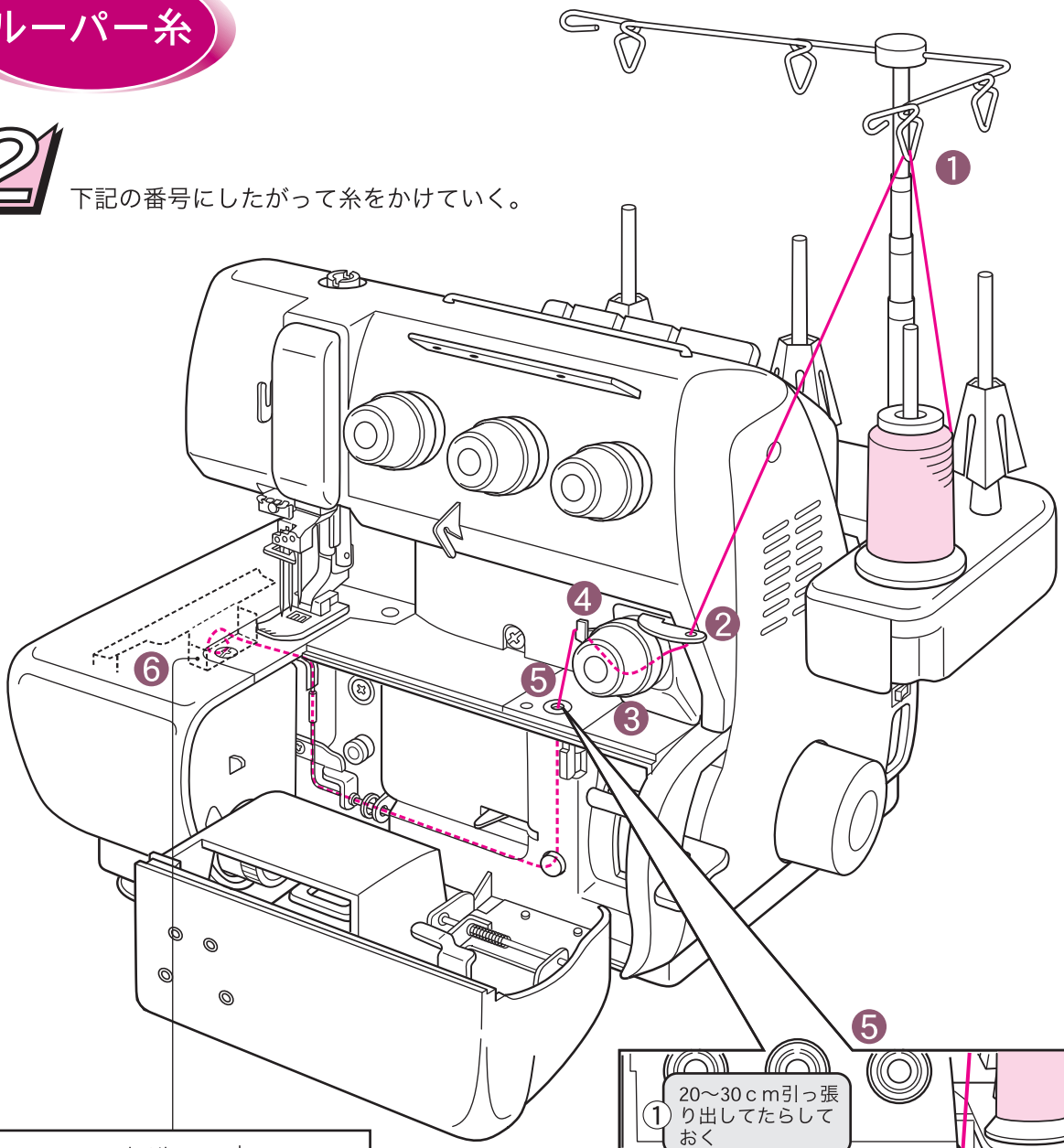


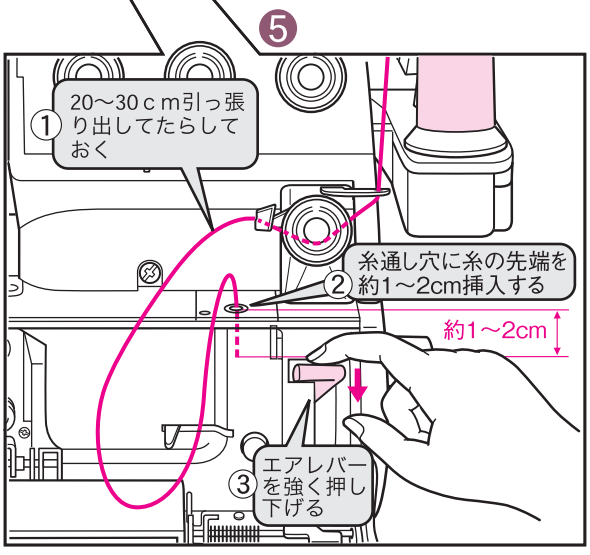
❷ テーブルカバーを閉める。

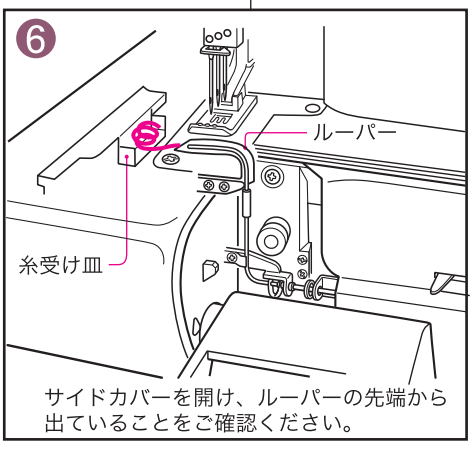


ルーパー糸

2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。







「固定の解除」をしてから縫い始める 重要

ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。
古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

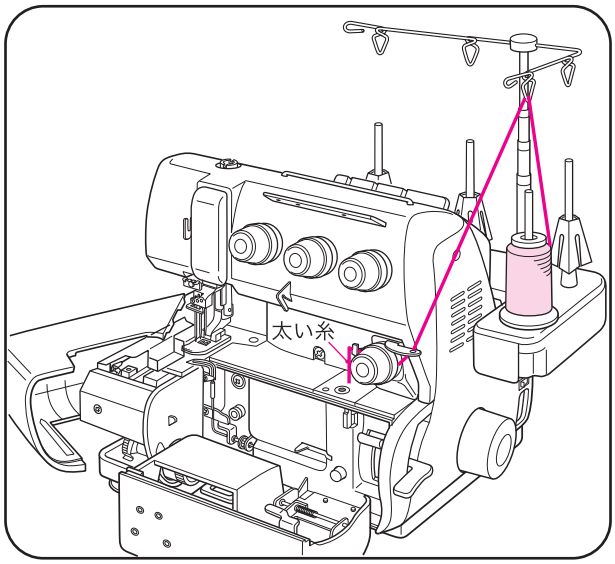
太い糸のかけ方

ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）に入らない場合があります。そのような時は下記のようにすれば使用できます。

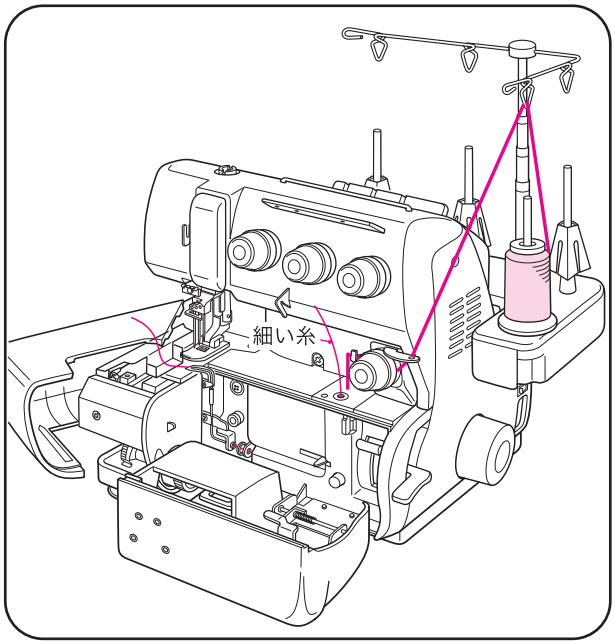
重要

1 「エアスルーシステムの準備」（P17）を行う。

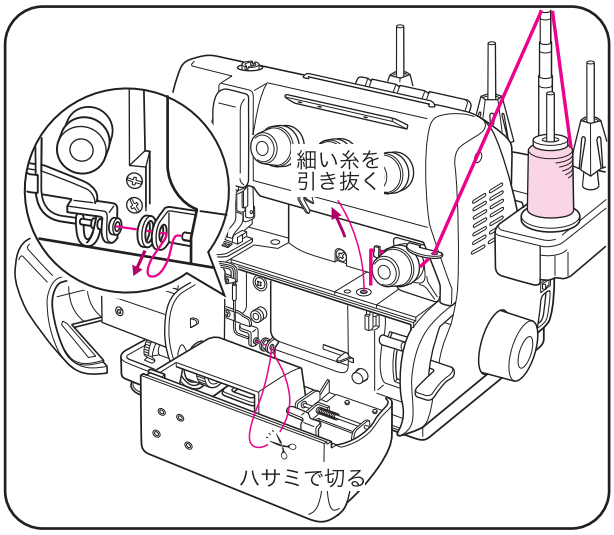
2 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。
（P18の ❶❷❸❹ 参照）



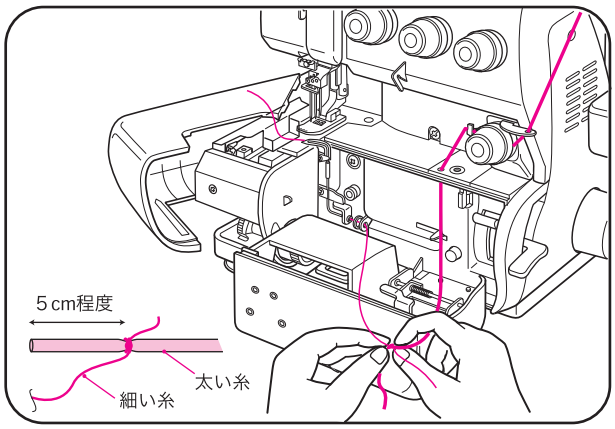
3 エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと（P18の ❺ 参照）、「固定の解除」を行う。
（P17参照） 重要



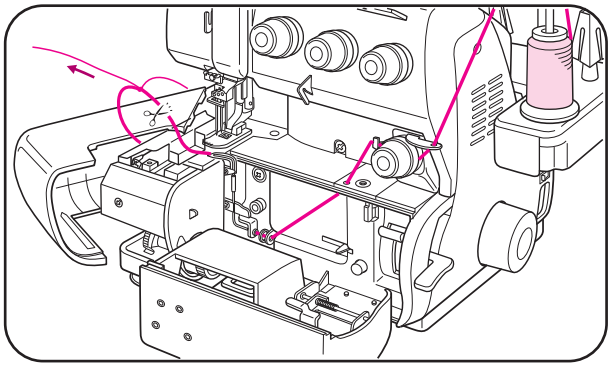
4 ピンセットで糸を引き出して切る。



5 太い糸を糸通し穴の横の穴に通す。太い糸の5cm程度のところで細い糸と結ぶ。



6 糸を引き出して切る。



※太い糸などを使用して縫う場合は糸調子ダイヤルの数字を少しゆるめてから縫ってください。

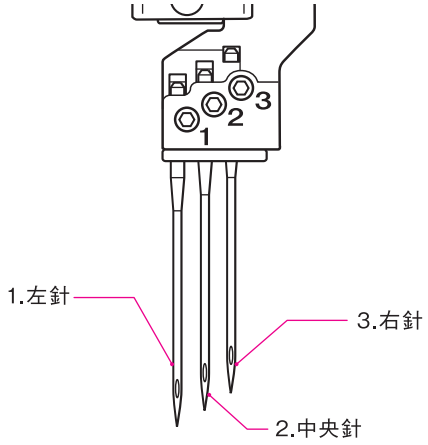
10 メンテナンス

◆ 針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

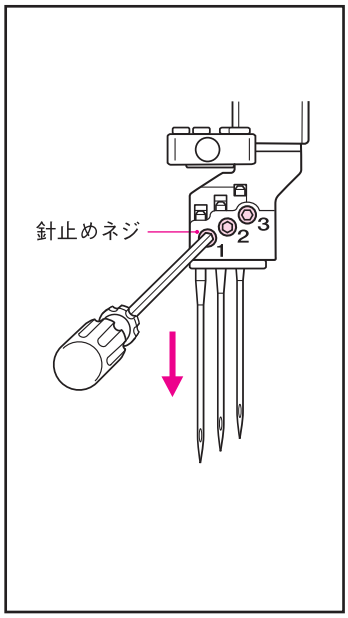
このミシンの針は必ず ＥＬ×７０５ ＃11、＃12、＃14 をご使用ください。(通常は＃12を使用します)
この針以外は使用できません。

注意 ケガをする恐れがあります。
針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。
通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

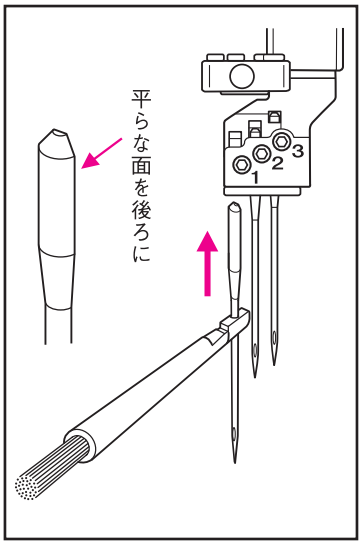


1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。

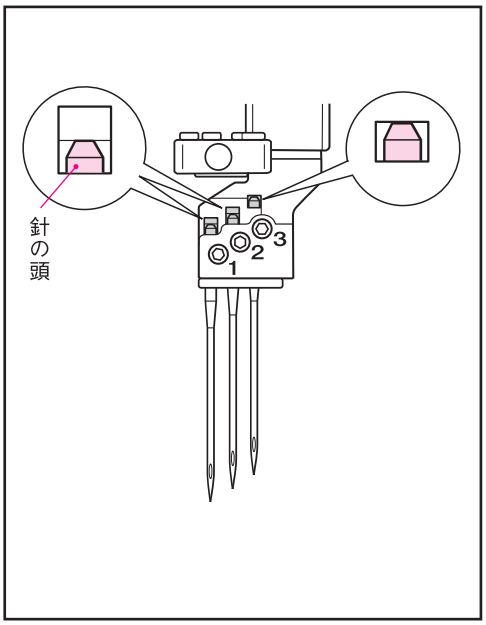
2 付属の六角レンチ・ドライバーで針止めネジをゆるめて針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。



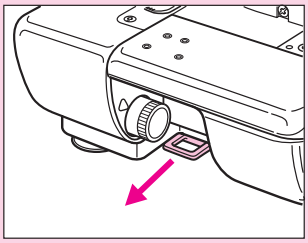
4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



註 ２本針や１本針で使用する場合は、抜いた針の針止めネジはしめ直しておいてください。ゆるんだままだとはずれて無くなる場合があります。

ワンポイント

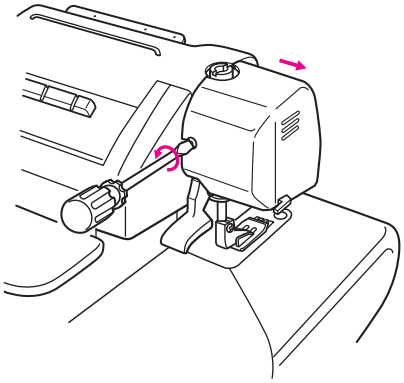
針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



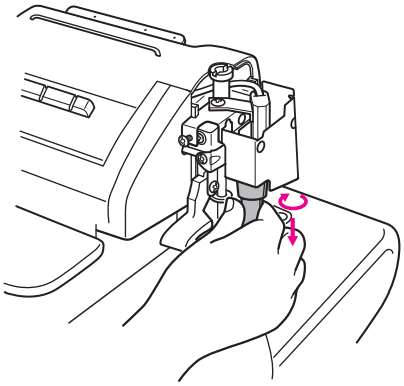
ランプの交換

ランプの交換は、付属のランプ交換具を使って、下記のように行ってください。

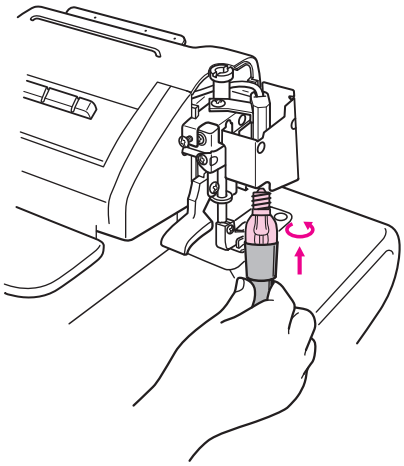
1 付属のドライバー（大）を使って止めネジをはずし、ランプカバーをはずす。



2 付属のランプ交換具を使って付いているランプをはずす。



3 新しいランプに交換してから、ランプカバーを付け、止めネジを締める。



ルーパースレッダーの使い方

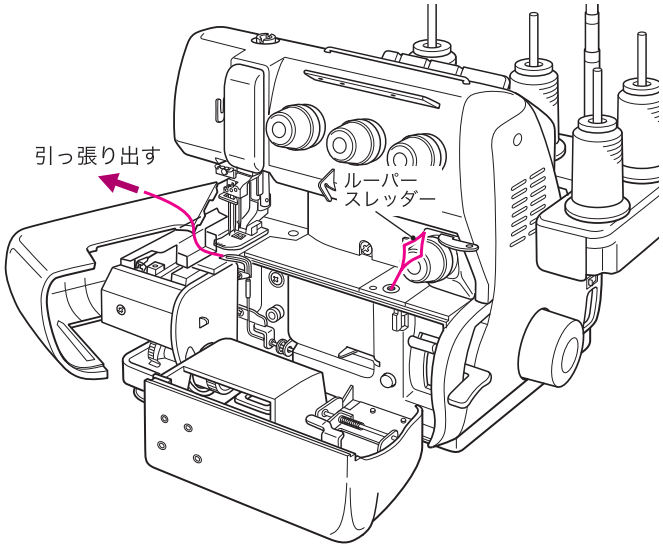
“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として使用すると便利です。『ルーパースレッダー』(P3)を使用する時は、初めに「はずみ車の固定」(P17)を行ってください。

❶ 掃除具として

「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』を差し込み、ルーパーの先端から出てきたら引っ張り出します。パイプにたまった糸クズが取れます。

❷ 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数ｃｍ入れ、❶と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパーの先端から引っ張り出します。



注意 ケガをする恐れがあります。 ➡ ランプの交換をするときやルーパースレッダーを使用するとき、また掃除をするときは必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

◆ 修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状　況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	□ 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	5
	□ 電源スイッチが［ I ］になっていますか。	5
	□ はずみ車の「固定の解除」がされていますか。	17
目とび、糸切れがする！	□ 針は指定の[EL×705 #11、#12、#14]がついていますか	20
	□ 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。	20
	□ 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。	20
	□ 糸かけが間違っていませんか。	15〜18
	□ 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。	15〜18
ルーパー糸が通らない！	□エアスルーシステムをご確認ください。	17

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

11 別売アタッチメント

ソーイングの幅が広がる、別売アタッチメントのご紹介

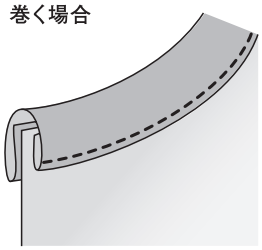
〜お求めはベビーロック販売店へ〜

「四つ折（10mm幅）バインダー／テープスタンド」セット

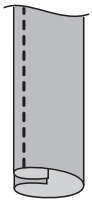
メーカー希望価格10,000円（税別）

襟ぐりバインダーなどを巻く場合やヒモ状のテープを作る場合には、別売の「四つ折バインダーとテープスタンド」セットを使うと便利です。

①襟ぐりバインダーなどを巻く場合



②ヒモ状のテープを作る場合



ふらっとろっく専用 透明押え

メーカー希望価格1,000円（税別）

針落ち位置が分かりやすく、作業がとてもスムーズに行えます。

仕　様

●縫　い　型　式	：	1本針2本糸チェーンステッチ 2本針3本糸カバーステッチ 3本針4本糸カバーステッチ
●カバーステッチ幅	：	6mm／3mm
●送り目(縫い目長さ)	：	1～4mm
●差　動　比　率 (伸ばし・縮みの比率)	：	0.6～2.0
●押え上がり量	：	4.5mm
●縫　い　速　度	：	毎分1,500針
●使　　用　　針	：	EL×705(#11、#12、#14)
●使 用 糸 本 数	：	4本、3本、2本
●消　費　電　力	：	105W（照明ライト含む）
●照 明 ラ イ ト	：	100V 15W
●ミシンの大きさ	：	奥行280×幅340×高さ290mm
●ミ シ ン の 重 さ	：	7.2kg

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ベビーロックの最新情報や作品づくりのアイディアはホームページとfacebookをチェック！

ホームページ　ベビーロック　検索
www.babylock.co.jp
スマホからは

Facebookページ　facebook.com/babylockjapan

株式会社ベビーロック
※baby lockは株式会社ベビーロックの登録商標です。
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11　TEL03(3265)2851(代表)
支店／東　京 03(5825)9020　名古屋 052(917)3671　大　阪 06(6768)3651
広　島 082(227)5781　福　岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日
販売店名	TEL

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要が起る場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお薦めします。

(BL72S) 072016 ㉑ TL